

平成 31 年 2 月 1 日に思う

今年さらに進化（深化）させたい取り組みが大学との連携であり、交流事業であります。

「選ばれる教育機関」や「社会や現場で活躍できるプロフェッショナルの育成」をめざしている大阪工業大学とは、平成 22 年 7 月に連携協力に関する協定を締結し、来年で丸 10 年になります。協定締結の主な目的は、環境共生に取り組むことや、地域資源・自然環境を活かして地域社会の発展と人材育成、教育の向上に寄与することです。その成果はこの 10 年間で着実に実りつつあると思います。今日までの取り組みを紹介すると、新入生のオリエンテーションの実施や親子理科教室の開催、川上村 PR コンテンツの実施、あきつの小野のライブカメラプロジェクトの実施等があります。また、大阪の一等地にある梅田キャンパスでは、川上産吉野杉で作られたイスや机などが持ち味を存分に活かして使われています。

そんな中、今年で 7 回目を迎えた「川上村 PR コンテンツ」の優秀作品表彰式が、同校の西村学長や小堀副学長、もちろん私も出席して同校の枚方キャンパスにて行われました。今回、作品づくりに参加した学生は 3 年生の 93 人で、この日表彰されたのは、金賞 1 人、銀賞 2 人、銅賞 4 人でした。授賞された学生の皆さんには、あらためて拍手を送りたいと思います。

この事業は、同校の情報科学部情報メディア学科の 3 年生が授業の一環として、本村の「魅力発信」や「地域資源の PR」のために行われているもので、作品づくりにはマルチメディアを駆使する高い能力と技術力が求められます。なお優秀作品は、本村公式ホームページで見ることが出来ますので、皆さんぜひ体験してみてください。（コチラから）

大学の「建学の精神」と学生たちの「能力と技術力」は、いずれも水源地の村づくりに不可欠であります。今後も両者間の連携体制をより一層強化して、さらなる“実り”を求めていきます。